

令和6年度第1回日吉自然の家運営協議会 会議録

議事

(1) 令和5年度の事業報告について

＜指定管理者および生涯学習施設課より令和5年度事業実績について説明＞

【委員】

私は、森林ボランティア関係で携わっている。森林ボランティア関係で長崎県の木育事業等の講師をしていて、こちらにも体験学習の講師として派遣されたりしている。私は県の事業や緑化推進事業とタイアップしてこちらの施設を利用しているが、子どもたちがこの施設に来るには、バスの費用や施設の利用料もあると思う。費用面についてはいろいろなところとタイアップしていると思うが、補助制度の利用などの取組について教えていただきたい。

【指定管理者】

補助については、諫早に「体験の風を起こそう」という取組があり、私はその委員になっているが、そこで許される限りの費用のお願いをし、まずイベントの中の木育教育の中での補助をいただいている。マンパワーになるが、諫早の方から加勢をいただいている。それと、緑化推進協会様からそれにかかる費用を補助していただいている。玄関の左側の看板も緑化推進協会から支援を受けて制作した。なかなか、補助金に関する情報が入ってこないが、今回県の森林ボランティア支援センターに入ってもらって、森の整備を進めていくことになっている。

【委員】

そういう提携をしないと日吉自然の家の利用状況もあがっていかないのではないかと思うので、積極的に利用していただきたいと思う。

(2) 令和6年度 日吉自然の家の事業計画

＜指定管理者より令和6年度の事業計画について説明＞

【委員】

チームによる森の整備という事で補助金を申請する予定という事で、対象になっているのが0.5ヘクタールだが、来年度については、長崎市の地目変更がスムーズに行われると、追加で1.5ヘクタールが補助金の対象になってくる。3年間トータルで、100万円程度の補助金がいただける予定になっている。そういうものを活用して、参加者の安全に関する防具類とか作業用のナタとかの購入に充てるなど、指定管理者と協議してやっていきたいと思う。

また、有害害虫等の被害が無いかを指定管理者へ確認したところ、ムカデなどが館内にも出没すると聞いた。いろんな消毒とかをしていると思うが、そういう害虫などは放置された森林などから発生してくるのが主であるため、森林の整備など環境をよくして有害害虫の発生を防ぐように努力していきたいと思う。施設の周辺については、施設側でも積極的な草刈りなどをしていただいて、子どもたちなど施設の利用者に害が及ばないように頑張っていただきたい。

【委員】

トランスクスモス（株）との提携があると聞いたが、どんな事を考えて提携をしようと思っているのか？

【生涯学習施設課】

今お話をいただいているのは、バス通りから日吉自然の家に上ってくる途中の右側の敷地の木の伐採およびその後の植栽整備についてご協力いただけるというお話をいただいている。

【委員】

おそらく檜（ヒノキ）が植わっていると思うが、全部伐採して、広葉樹とかどんぐりとかクヌギとかを植えて、自然観察ができるような樹木を植えてもらうといいのではないかと思う。

【生涯学習施設課】

詳しく説明すると、委員の言われたようにヒノキの部分を全伐という事で予定をしている。そこに、広葉樹林を植樹するような方向で調整をしている。

【会長】

ESD の取組について、今年度力を入れていきたいという事だが、イメージなどはあるか？

【指定管理者】

この前の5月のイベント「浜辺の宝さがし」を実施したが、飯香浦の海岸にゴミが漂着していて、その漂着物の中のシーグラスを集めてアート作品を作るという試みをした。それ以外の漂着物もあるが、主にプラスチックやペットボトルは自然に帰らないので海に良くない。そういう物を拾うという作業を、こちらから勧めないで、利用者が進んで捨てるよう仕向けた。こちらからお願いして拾ってもらっても、ESD にならないので、自分たちにできることを進んでやってもらうというイメージである。

【会長】

学校では、育成すべき「資質能力」というのが謳われていて、目当てを立てる時も、○○しようという目当てではなくて、○○できるようになることが資質能力になると話をしている。それで、本日の7枚ものの資料の1番最後に記載されている1番から4番までは能力、5番から7番までは態度となっていて、これがESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度とされている。

学習指導と捉えるのであれば、目当てを立てる時に、この活動はこんな事ができるようになるという事を押されたうえで、活動させて、振り返りの時に○○ができるようになりましたか？と振り返ると ESD の視点に立った活動ができるようになるのではないかと思うが、どうか？

【指定管理者】

なかなか難しい部分だと思う。あまりこじつけになってもいいけないし、自然とそういうことが出来上がっていけば良いなというのが今の我々の考え方であり、そこに指導的なものが入って、それをどのように融合していくかというところを、うまくマッチングさせないといけないと考えている。

自然の家だから、あまり肩の力を入れずにできるような方向性にしていかないといけないというのが今の我々の考え方であるが、会長の言われたような部分もすごく参考になる部分であると思う。

【会長】

言われる意味はよくわかる。私達がやっているのは学校教育の部分であって、日吉自然の家でやっているのは社会教育の部分であるという違いだと思う。あまりにも学習・学習

でやると雁字搦めになってしまふので、そのあたりの融合の仕方が難しいということだと思う。

【指定管理者】

私の方から 1 つよろしいか。私たちがいろんなイベントをする前に、例えばトレッキングをする場合、事前にコースの下見をして整備をしなければいけない。施設の中の整備は問題無いが、施設の外周の整備をする際の話になる。例えば、甑岩での祭りは、祭りの 1 週間前位から地域の方々が掃除をされる。そのように事前に情報がある場合は、私達ができる掃除とバッティングしない。ところが、他のところになると私達が整備した後にそういう活動をされるとか、その逆の場合もある。事前に情報があれば、バッティングせずに無駄な作業をしないで済む。なぜこういう話をさせていただいたかというと、これから手分けをして点検をやろうという時期になっていて、私達も十分な人員がいるわけではないので、できるだけ無駄が無いようにしたいと思い、ご相談をさせていただいた。

【委員】

私達のところは、4 月の第 2 日曜日のみ。甑岩祭りの時期に合わせ行っている。いつも冬時期に指定管理者が草払いをされているみたいなので、上までは全員は登れないで、役員だけが行って草刈りをするのだが、イノシシだけは気を付けてほしい。今年は結構荒らしているようである。

(3) 宿泊体験学習等について

<学校教育課より宿泊体験学習について説明>

【委員】

宿泊体験学習に関して、ちんじんよか BY 茂木については、団体の方と話したところ、スムーズに行くのが定着していて、大きな問題は無いと聞いている。

あと、宿泊体験学習のアンケートの結果について、みんなに伝えたいと思う。

【委員】

トレッキングは、金比羅山の方に行ったりすると思うが、私たちが心配するのは、イノシシとマムシだけは気を付けてもらいたいと思う。特にイノシシは、子連れのイノシシとかも出て来ており、クマと同様に神経質になっているので、そこは注意してもらいたい。

【会長】

併せて、蜂にも注意してもらいたいと思う。

【委員】

私は農業体験でいつも関わっているが、宿泊体験学習の農業体験では収穫作業だけをやっているが、本当ならば収穫作業だけでなく、植え付け作業もやってもらいたいと思っている。植え付けと収穫の両方があって、本当の農業体験だと思うからである。例えば、4 年生の時に植え付けの作業を体験し、5 年生の宿泊体験学習で収穫作業を行うなど。現状は、農業従事者が植え付けたものを 5 年生が収穫しているという状況なので、ちょっと難しいかも知れないが、両方を体験してもらいたいと思っている。

【学校教育課】

宿泊体験学習だけであれば、バス代とかそういったところに絡んでくる問題かなと思うが、そこと学校教育、全部がそこだけでは終わらないが、近くの畑など出来るところと関連させながら資質能力を身に付けられるようにしていきたいと思う。

【委員】

芋ほりでいつも 10 月か 11 月に来てもらうが、極端に言えば、6 月から 7 月に来て 1 回植え付けてもらえば、出来たものを学校に送ってもいいし、掘るだけではなくて、どういう風に植えるかという部分も学んでほしいし、そういうことも考えてもらえればと思う。

【委員】

植え付けて、収穫して渡すということか？

【委員】

極端にいえば、植え付けを行ってもらったあと、収穫するのは農業従事者がやって、学校へこんなのが出来ましたと持つていけば、関わった人たちは、あの時植えたものがこんな風に出来たのだと感じられる。現状は、極端に言えば、関わらずに芋を掘っただけという状態である。

農業というのは、ただ掘るだけじゃなくて、植えるところから始まるので、全体を体験してもらいたいと思う。

【会長】

これで令和 6 年度第 1 回日吉自然の家運営協議会を終了する。